

# 令和6年度の主な施策概要

本年度の主な施策の概要は、以下のとおりです。当初予算の詳細については、広報薩摩川内5月通常版でお知らせします。

## 1 子ども・子育て

- ◎安心して子どもを産み育てられる支援の強化
- 薩摩川内市子ども家庭センターの設置
- 産後ケアの更なる充実
- 共働き・子育ての応援
- 子ども医療費の助成や学校給食費の補助に電源立地地域対策交付金を活用



## 2 コミュニティ

- ◎自治組織運営支援の拡充
- ゴールド集落支援制度を継承しつつ、自治会や地区コミュニティ協議会に対する交付金・補助金制度の大幅な見直し
- 自治会や地区コミュニティ協議会が所有する防犯灯の電気料金相当額を市が負担
- テレビ難視聴自主共聴組合が所有する共同受信施設の維持管理経費の支援



## 3 産業人材確保・移住定住戦略

- ◎就業および移住定住の更なる促進
- 奨学金返還支援制度の拡充
- 高校生などの市内就職を奨励する取り組みの実施
- 医療・介護・保育、農林水産、建設、地域公共交通など、多様な分野における人材確保・育成



▲市移住定住支援サイト

## 4 SDGs・カーボンニュートラル

- ◎「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向けた気運の更なる醸成
- SDGsに資する行動にポイントを付与
- トイレタリー商品プラスチック包装容器の分別回収事業の継続
- 甑島区域における生ごみの処理対策の調査に着手



## 5 DX(デジタル・トランスフォーメーション)

- ◎デジタル技術を活用した地域課題の解決
- デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用し、地域内経済の循環を促進
- 地域医療介護情報ネットワーク「かごネット」の利用推進



▲デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」

## 6 市誕生20周年記念

- ◎郷土愛と一体感の醸成
- 記念式典やイベントなどの記念事業の実施(特産品などの販売促進や販路拡大、次世代を担う若者の交流、憩いと安らぎを与える森づくりなどの取り組み)



▲市誕生20周年記念特設サイト

# 令和6年第1回薩摩川内市議会定例会 施政方針の概要

令和6年2月20日開会の第1回市議会定例会において、田中良二市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を一部紹介します。なお、全文は市ホームページでも紹介しています。



▲市ホームページ

## 二 国の動向

第213回通常国会の施政方針演説において、岸田文雄内閣総理大臣は、賃上げや設備投資、株価など、日本経済が新たなステージに移行する明るい兆しが随所に出ていることを踏まえ、「これまでの積み上げを形にし」、国民が「成果を実感していただく年」とするため、総力を挙げて取り組むことを訴えました。

## 三 施策の概要

本市においては、令和3年6月の薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言の趣旨を踏まえ、誰一人取り残さない持続可能で魅力的なまちづくりをさらに力強く推進して

いく必要があります。特に、令和6年10月には、市誕生20周年を迎えることから、この節目を市民の皆さまと共に祝い、郷土愛と一体感の醸成を図りながら、アフターコロナの未来に向けてさらなる飛躍を目指してまいります。また、令和6年度は、本市誕生以降取り組んできた、新市の一体感の醸成、地域自らが主体となった地域づくり、市内外への積極的な情報発信、快適で利便性の高い社会基盤の整備・充実、さらには、持続可能なまちづくりなどの施策展開を振り返り、人口減少の進行による社会経済情勢の変化などの時代の潮流を踏まえた、市政の新たな羅針盤となる第3次総合計画を策定する大変重要な年となります。

これらに取り組みつつ、行財政運営においては、少子・高齢化の進行に伴う社会保障関係費や、公共施設などの維持管理経費など経常的経費の増加が続いている状況にあることから、なお一層の健全で持続可能な財政構造を確立する必要があります。

このような状況を踏まえ、本市の令和6年度の施策展開においては、次ページに掲げる6項目にポイントを置き、予算の選択と集中を図りながら、新たな行政課題の解決に積極的に取

り組んでまいります。

## 三 予算の大綱

令和6年度当初予算案においては、予算編成方針に基づき、第2次総合計画および総合戦略に基づく施策、アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期の展望および未来創生10ビジョンの実現に係る事業の着実な進展を図るとともに、薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル宣言や薩摩川内市SDGs未来都市計画の趣旨を踏まえ、持続可能で魅力的なまちづくりに向けた予算を編成したところであります。

これらの結果、一般会計当初予算の規模は、前年度当初予算に比べ、5・5パーセント増の575億6千万円となりました。また、温泉給湯事業など9つの特別会計は、合計で258億4493万4千円となった他、水道事業など3つの公営企業会計は、合計で56億9099万円となりました。

## 三 結び

最後に、本年度も各種施策を展開・推進するに当たり、市民の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 地域産業の高度化や雇用の創出を目指して

令和4年4月20日に、市と京セラ株式会社鹿児島川内工場は、半導体部品関連事業の増強を図ることを目的に、第23工場の増設に関する立地協定を締結しました。

現在、令和7年3月の一部操業開始を目指して、工事などが進められています。また、工場拡張を見据えた用地拡張のため、高城産業用地の整備も進められています。



▲整備が進む京セラ株式会社鹿児島川内工場第23工場(左)と高城産業用地(右)

## アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望

おおむね令和10年4月を目途に、実現を目指す田中良二市長の戦略方針です。

### 5つの未来創生

- 1 新ビジョンの策定**
  - ・第3次総合計画策定
  - ・48地区コミュニティの地区振興計画改訂
- 2 循環経済・産業拠点の創出～川内港臨海ゾーン整備**
  - ・川内港久見崎みらいゾーンの分譲・企業立地
  - ・南九州西回り自動車道阿久根川内道路薩摩川内水引IC～(仮称)湯田西方ICの供用 など
- 3 雇用の創出**
  - ・既存誘致企業の拡張推進
  - ・新規就農者育成拠点施設、閉校跡地の利活用推進
- 4 交流の創出**
  - ・全国大会の開催支援、誘致
  - ・川内文化ホール跡地活用施設の整備促進
- 5 甑島医療体制の整備**
  - ・甑島の診療所などの再編、整備



▲整備が進む川内文化ホール跡地